

中丹版力のある学校を支える連携・協働

学校をプラットフォームとした総合的支援

- 子どもの学習・生活を支援するネットワークの構築
- スクールカウンセラー、まなび・生活アドバイザー等の外部専門家の派遣による福祉関係機関との連携の推進
- ボランティア等による学習支援 「京都府子どもの貧困対策推進計画」から
- 社会的自立に向けた不登校児童生徒への組織的・計画的な支援の充実
- 適応指導教室、府認定フリースクール、ユース・アシスト、脱ひきこもり支援センター等関係機関と連携した学習機会の提供と希望進路の実現に向けた支援

「社会的自立に向けた不登校児童生徒支援計画」から

これまで、子どもの貧困対策のプラットフォームとして位置付けられてきた学校において、児童生徒の社会的・職業的・経済的自立を目指し、地域や関係機関との連携、校種間接続の取組を進めてきました。

新学習指導要領等でも、子どもたちが生まれ育った環境や障害の有無に関わらず、様々な人と関わりながら学び、その学びを通じて、自分の存在が認められることや、自分の活動によって何かを変えたり、社会をよりよくしたりできることなどの実感をもつことが期待されています。

子どもの安心・安全な居場所づくり

- 「いじめ撲滅・非行防止アピール&アクション」の実行
(いじめ・薬物乱用・ネットトラブルなど現代的課題への対応)
- 様々な団体と連携した声かけ・見守り運動の活性化
- 多様な体験活動の充実

社会全体での家庭教育支援

- 人や社会と積極的にかかわる「つながりサポーター」の拡充
- 食生活や食習慣の大切さが学べる場の提供
- 家庭や地域の絆、子どもをはぐくむことの大切さ等の積極的な啓発
- 社会総がかりで子どもをはぐくむ環境づくり(中丹はぐくみサポート会)
- 事業所との連携による家庭教育支援(はぐくみナビゲーション)

「地域とともにある学校づくり」「学校を核とした地域づくり」

- 子どもをはぐくむネットワークづくり(福祉関係機関・自治会・NPO等との連携)
- 地域全体で教育に取り組む体制づくり
- 地域との連携・協働による学習機会の提供(地域未来塾、子どもの学習支援事業)

学校・家庭だけでなく、幅広い地域住民の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働していく取組によって、豊かな体験活動の場が増え、コミュニケーション能力の向上や地域への理解・関心の深まりが期待できます。